

CHD-SUCG シリーズ

取扱説明書

■はじめに	1
■安全上の注意	1
■特徴	2
■制限事項	2
■ご使用の前に	2
■製品仕様	3
■対応機種・対応OS	3
■製品内容	3
■各部の名称	4
■USBでの使用方法～Macintosh編	5
■USBでの使用方法～Windows編	8
■SCSIについて	12
■SCSIでの使用方法～Macintosh編	13
■SCSIでの使用方法～Windows編	15
■トラブルシューティング	17



【はじめに】

このたびはCHD- SUCGシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に本説明書を必ずお読み下さい。

【安全上の注意<必ず守って頂くようお願いします>】

- ・ご使用前に、安全上の注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守って頂くようお願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

 警告	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。
 注意	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害ないし物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。

警告

- 煙が出る、異臭がする、異音がでる
煙が出る、異臭がする、異音ができるときはすぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 機器の分解、改造をしない
機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。
点検及び修理は、お買上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 機器の内部に異物や水を入れない
筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 湿気や水気のある場所では使用しない
台所や風呂場などの、湿気や水気のある場所では使用しないで下さい。機器の故障や、火災の原因となります。
- 不安定な場所に機器を置かない
ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないで下さい。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。
- 電源の指定許容範囲を守る
機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。
- 電源コード、接続コードの取り扱いについて
電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘などで固定すると傷ついて芯線の露出や断線などによる火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかける恐れのある位置等には設置しないで下さい。
- 雷が鳴り出したら電源コードに触れないで下さい。
感電したり火災の原因となります。
- ぬれた手で機器に触らない
ぬれたままの手で機器に触れないで下さい。感電や故障の原因になります。

注意

- 設置場所に関しての注意事項
以下の様な場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。
 - ・熱、暖房器具（ストーブ、アイロン、ヒーター等）の近く。
 - ・油煙や湯気のある調理台、加湿器等湿気の近く等はこりや湿気の多い場所。
 - ・直射日光のあたる場所。
- 長期間使用しない場合は接続コードを外してください
長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。
- 機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください
移動する際は必ず接続コードを外して行って下さい。接続したままの移動はコードの断線などの原因となります。
- 小さいお子様を近づけない。
お子様が聞きに乗ったりしないよう、ご注意ください。怪我等の原因になることがあります。
- 静電気にご注意ください
本製品は精密電子機器ですので静電気を与えると、誤動作や故障の原因となります。

【特徴】

- SCSIとUSB両方接続で、PCIバスMacintoshとiMac,iBook,PowerMacG4とのデータ共有に最適。
- 大好評CHBシリーズを元に培ったNewIDEtoSCSIテクノロジー搭載。
- UltraSCSI対応。
- USB接続時にホットプラグ対応。
- USBでもパーティションの分割可能。
- 20 / 40GBの大容量。
- Macintosh、Windows両方の環境でお使い頂けます。
- 縦置き / 横置き両方で自由なレイアウト。
- アクティブターミネータ内蔵。

【制限事項】

- USB接続時に本機からのOS起動は出来ません。
- SCSI接続時にOSの起動は可能ですが、お使いのコンピュータ、SCSIホストアダプタが起動に対応していることが必要です。
- 本製品を使用するによって生じた直接、間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- SCSI、USB両方同時に接続しては御使用になれません。

【ご使用の前に】

- ・本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡頂きます様お願いします。
- ・本製品を使用するによって生じた直接、間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。
- ・MacintoshはApple Computer,Inc.の登録商標です。
- ・改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。
- ・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を。日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- ・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。

【製品仕様】

名称	: CHD-SUCG
型番	: CHD-20GSUCG (20GBモデル) CHD-40GSUCG (40GBモデル)
インターフェイス	: SCSI / USB
SCSIインターフェイス仕様	: UltraSCSI (FAST-20) 8ビットシングルエンド
SCSIコネクタ形状	: D-SUBハーフピッチ50pinメス
USBコネクタ形状	: レセプタクルBタイプ
外形寸法	: 55mm (W) x 136mm (H) x 228mm (D)
電源電圧定格	: 100V±10%
電源周波数	: 50 / 60Hz
温度、湿度	: 温度5～35℃、湿度20～80% (結露しないこと)

【対応機種・対応OS】

■SCSI接続

●Macintosh

対応機種: SCSIインターフェイス標準搭載モデル
PCI接続SCSIインターフェイス搭載機

動作確認済みSCSIインターフェイス:

CSAP-820UN / UT / UV / IDE-ON, PowerDomain2940

対応OS: MacOS 8.1, MacOS 8.6, MacOS 9.0, MacOS 9.0.2, MacOS 9.0.4

●Windows

対応機種: PCI接続SCSIインターフェイス搭載機

動作確認済みSCSIインターフェイス:

CSAP-820UN / UT / UV / IDE-ON, AHA-2940, AHA-2940U, AHA-2940AU

対応OS: Windows 95OSR2, Windows 98, Windows 98SE, Windows 2000, Windows Me

※SCSIカードが大容量のHDDへ対応していること。

■USB接続

●Macintosh

対応機種: PowerMacintoshG3 (USBインターフェイス標準搭載モデル)
iMac, iBook

PowerMacintoshG4, PowerMacintoshG4Cube

対応OS: MacOS8.6, MacOS9.0, MacOS9.0.2, MacOS9.0.4

●Windows

対応機種: USBポートを搭載したPC / AT互換機 (intelチップセット搭載モデル推奨)

USBポートが使用しているOSからサポートされている機種。

Pentium233MHz、メインメモリ64MB以上推奨。

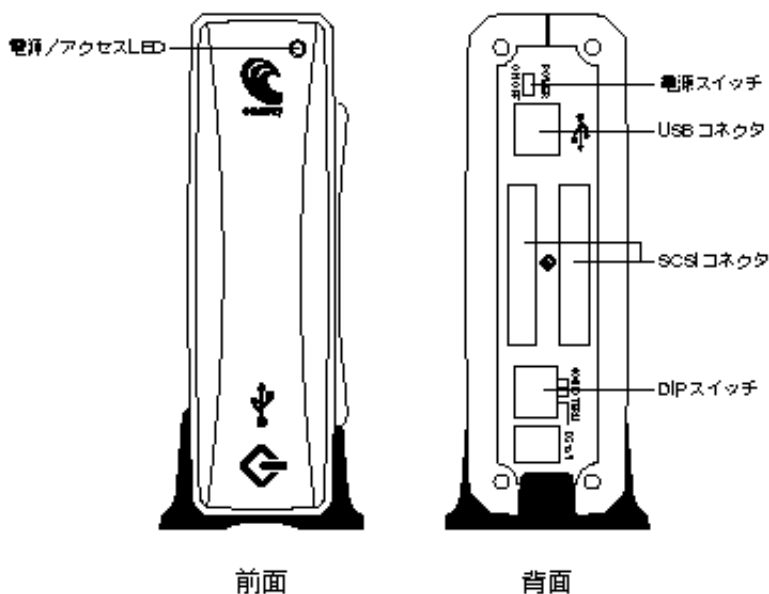
※導入前にコンピュータのドライバ、BIOSを最新の物に更新しておくことをお勧めします。

対応OS: Windows98, Windows98SE, Windows2000, WindowsMe

【製品内容】

- CHD-SUCG本体
- 専用ACアダプター
- 専用電源ケーブル
- USBケーブル
- ドライバーCD-ROM
- 取扱説明書
- シリアル・シール×2
- 保証書

【各部の名称】



【USB での使用方法～ Macintosh 編】

■取り付けまでのステップ

Step 1 : B'sCrew Liteのインストール

Step 2 : ドライバーのインストール

Step 3 : CHD-SUCGをMacintoshに接続

Step 4 : CHD-SUCGをフォーマット

●取り付けの前に

ドライバーCD-ROMは「Century006」という名前でデスクトップに表示されます。

このマニュアルでは、ドライバー CD-ROM という表記は、この「Century006」とマウントされるCD-ROMのことを指します。

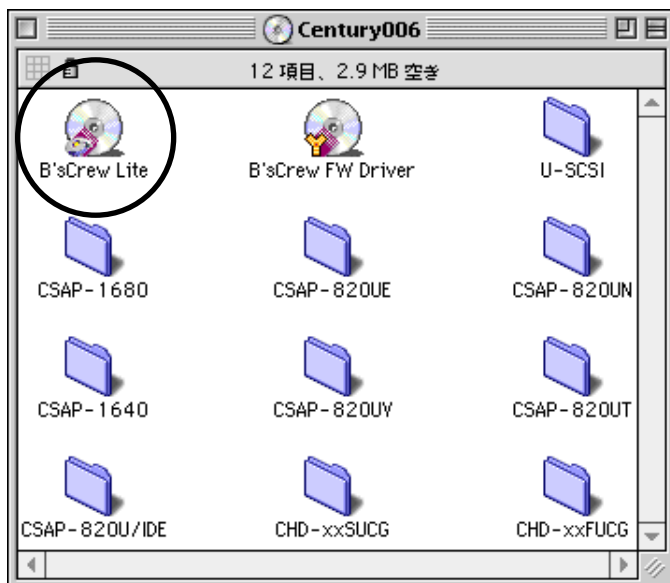


●Step 1 : B'sCrew Liteのインストール

1 : Macintoshを起動します。

2 : ドライバーCD-ROMをCD-ROMドライブへ入れます。

3 : 「Century006」のアイコンをダブルクリックして開き、「B'sCrew Lite」をダブル クリックして開きます。



4 : 「B'sCrew Lite installer」をダブルクリックしてインストーラを起動します。



5 : 表示される手順に従ってインストールを行います。

6 : Macintoshを再起動します。

●Step2：ドライバのインストール

1 : Macintoshを起動します。

2 : ドライバーCD-ROMをCD-ROMドライブへ入れます。

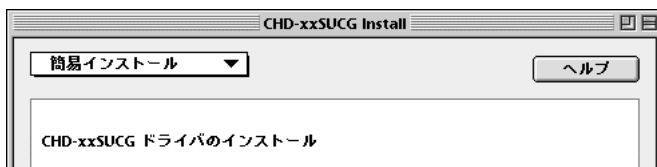
3 : 「Century006」のアイコンをダブルクリックして開き、「CHD-xxSUCG」→「Disk1」という順番でフォルダを開きます。



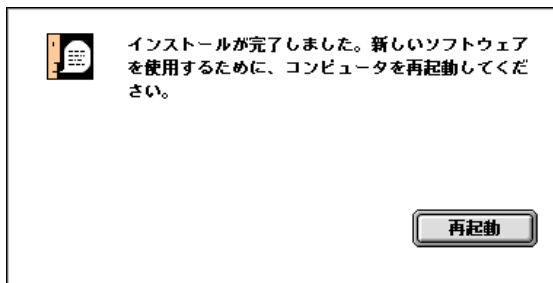
4 : 「Disk1」フォルダの中の「インストーラ」をダブルクリックします。



5 : 左上の項目が「簡易インストール」に設定されていることを確認し、右下の「インストール」をクリックします。



6 : Macintoshを再起動します。



●Step3：CHD-SUCGをMacintoshに接続します。

- 1：ACアダプターをCHD-SUCGに接続します。
- 2：電源ケーブルをACアダプタに接続した後、コンセントに接続します。
- 3：CHD-SUCGの電源スイッチを入れます。
- 4：CHD-SUCGをMacintoshのUSBポートに接続します。
- 5：Macintoshを起動します。

●Step4：CHD-SUCGをフォーマット

- 1：「Appleメニュー」 → 「コントロールパネル」 → 「B'sCrew Lite」を開きます。
- 2：B'sCrewからはCHD-SUCG（USB接続時）はATAバスとして認識されます。
（例）iBookの場合ATA3
- 3：新しいATAバスに接続されているHDDをダブルクリックして開くと、ドライブウィザードが実行されます。指示に従ってハードディスクの領域を設定することで使用可能になります。

●イニシャライズが完了してデスクトップにハードディスクのアイコンが表示されたら完了です。

・取り付け及び取り外し

ホットプラグ対応ですのでOS起動中に取り付け及び取り外しが可能です。

取り外しをする際は必ずCHD-SUCGのハードディスクアイコンをごみ箱に捨て、アンマウントしてから取り外して下さい。

【USBでの使用方法～Windows編】

■取り付けまでのステップ

Step 1：ドライバーのインストール

Step 2：CHD-SUCGのディスク領域確保、フォーマット

●Step 1：ドライバのインストール

□Windows 98の場合

- 1：Windows 98を起動します。
- 2：CHD-SUCGをUSBポートに差し込んでください。
- 3：システムが、「USB-ATA / ATAPI Bridge」としてCHD-SUCGを検出します。
「次へ」をクリックしてください。



- 4：検索方法の指定画面が表示されます「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」にチェックが入っていることを確認して「次へ」をクリックします。



- 5：ドライバの検索場所を指定する画面が表示されます。

インストール CD を CD-ROM に挿入し、「検索場所の指定」をチェックし、指定する場所を CD-ROM ドライブの \CHD-xxSUCG を指定して下さい。



※もしCD-ROMドライブがE:ドライブであればE:\CHD-xxSUCGを指定します。

- 6：「次へ」をクリックしてください。
- 7：「完了」をクリックして下さい。
- 8：「完了」をクリックするともう一度新しいハードウェアの認識ウィザードが表示されます。
全て「次へ」をクリックして最後に「完了」をクリックしてください。設定を変更する必要はありません。

□WindowsMeの場合

- 1 : WindowsMeを起動します。
- 2 : CHD-SUCGをUSBポートに差し込んでください。
- 3 : システムが、「USB-ATA / ATAPI Bridge」としてCHD-SUCGを検出します。
「次へ」をクリックしてください。
- 4 : 検索方法の指定画面が表示されます。「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」にチェックを入れて「次へ」をクリックします。
- 5 : ドライバの場所を指定する画面が表示されます。
インストール CD を CD-ROM に挿入し、「検索場所の指定」をチェックし、指定する場所を CD-ROM ドライブの \CHD-xxSUCG を指定して下さい。
※もしCD-ROMドライブがE:ドライブであればE:\CHD-xxSUCGを指定します。
この時「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）」というチェックは必ず外してください。
- 6 : 「次へ」をクリックしてください。
- 7 : 「完了」をクリックして下さい。
- 8 : 「完了」をクリックするともう一度新しいハードウェアの認識ウィザードが表示されます。
全て「次へ」をクリックして最後に「完了」をクリックしてください。設定を変更する必要はありません。

□Windows2000の場合

- 1 : WindowsMeを起動します。
- 2 : CHD-SUCGをUSBポートに差し込んでください。
- 3 : システムが、「USB-ATA / ATAPI Bridge」としてCHD-SUCGを検出します。
「次へ」をクリックしてください。
- 4 : 検索方法の指定画面が表示されます。「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」にチェックが入っていることを確認して「次へ」をクリックします。
- 5 : ドライバの検索場所を指定する画面が表示されます。
インストール CD を CD-ROM に挿入し、「CD-ROM」をチェックし、指定する場所を CD-ROM ドライブの \CHD-xxSUCG にして下さい。
※もしCD-ROMドライブがE:ドライブであればE:\CHD-xxSUCGを指定します。
- 6 : 「次へ」をクリックしてください。
- 7 : 「完了」をクリックして下さい。

●Step2 : ディスクの領域を確保、フォーマット

□Windows2000の場合

- ・「スタートメニュー」から、「設定」→「コントロールパネル」を開きます。
- ・「コントロールパネル」の中の「管理ツール」を開き、その中の「コンピュータの管理」を開きます。
- ・「コンピュータの管理」画面の「記憶域」下の「ディスクの管理」を選択します。
- ・「ディスクの管理」画面右下に、「ディスクX（Xは数字が入ります）」の未割り当てディスクがありますので、そこにカーソルを合わせて右クリックし「パーティションの作成(P)」を選択します。
- ・「パーティション作成ウィザード」が開始されますので、お客様の御使用の環境に合わせて設定します。パーティションのフォーマットを行わないと、Windows からハードディスクを使用することが出来ませんのでご注意ください。

□Windows98 / 98SE / Meの場合

- ・「スタートメニュー」から、「プログラム(P)」→「MS-DOSプロンプト」を選択します。
- ・C:\WINDOWS>の後に、キーボードで「FDISK」と入力し、Enterキーを押します。
- ・「512MB以上のディスクがあります」には「Y」キーを押して「Enter」を押して下さい。
- ・FDISKメインメニューが表示されます。
 - 「5.現在のハードディスクドライブを変更」を選択し「Enter」キーを押し、接続した CHD-SUCGがコンピュータの2台目のディスクなら「2」を3台目のディスクなら「3」を押して「Enter」を押して下さい。
- ・「1.MS-DOS 領域を作成」を選択します。
 - 「1」と「Enter」キーを押します。
- ・「1.基本MS-DOS領域を作成」を選択します。
 - 「1」と「Enter」キーを押します。
- ・「MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか？」というメッセージが表示されます。
 - 「Y」キーを押して「Enter」を押して下さい、領域の分割等については、Windowsのマニュアル等をご参照下さい。
- ・「基本 MS-DOS 領域を作成しました、ドライブ名は変更または追加されました」というメッセージが画面下部に表示されたら、「ESC」キーを3回押して「C:\Windows」に戻ります。
- ・C:\Windows>の後に「EXIT」と入力し、Enterキーを押してMS-DOSプロンプトを終了します。
- ・Windowsの画面に戻ったら再起動を行います。
- ・再起動した後、マイコンピュータを開くと、新しいドライブが追加されています、この状態で新しいドライブを開こうとしても「アクセスできません。システムに装着されたデバイスは動作していません。」と表示され、使用することが出来ません。ドライブを右クリックして「フォーマット(M)」を選択します。
- ・フォーマット画面が表示されます、「フォーマットの種類」を「通常のフォーマット (F)」にクリックし「開始(S)」をクリックします。
- ・「このドライブはハードディスクまたは大容量リムーバブルディスクです。フォーマットするとディスクのデータはすべて失われます。フォーマットしてもよろしいですか？」というメッセージが表示されます。
 - 【間違いなく増設したディスクであるかを確認して】「OK」をクリックします。
- ・フォーマットが終了します。「閉じる」を押して下さい。
 - ※この時、Windows がスキャンディスクを実施するかを問いあわせます、お時間があれば、(数十分～数時間かかります) 念のため実施しておくことをお勧めします。

●取り付け及び取り外し

ホットプラグ対応ですのでOS起動中に取り付け及び取り外しが可能です。

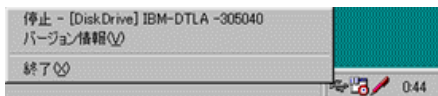
■Windows98 / Meの場合

取り外しユーティリティを使用します。

CHD-FUCG (SUCG) を接続するとタスクトレイにUSBアイコンが表示されます。



取り外す場合はこのアイコンを右クリックでメニューが表示されますのでこのなかの「停止」を選択します。



「USB デバイスが切断されました」というメッセージが表示されたら取り外して完了です。



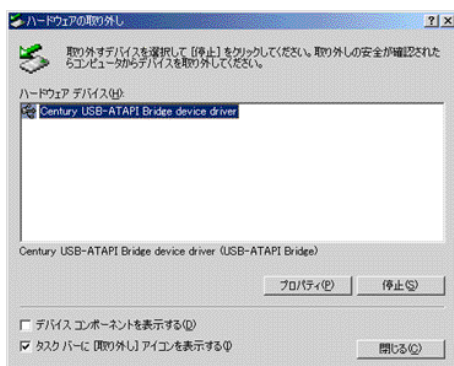
■Windows2000の場合

OS 標準の「ハードウェアの取り外し」を使用します。

CHD-FUCG (SUCG) を接続するとタスクトレイに斜め矢印のアイコンが表示されます。



このアイコンをダブルクリックすると「ハードウェアの取り外し」ウィンドウが表示されます。「Century USB-ATAPI Bridge device driver」を選択して「停止」をクリックします。

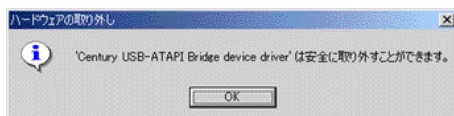


「ハードウェアデバイスの停止」ウィンドウが表示されます。

「Century USB-ATAPI Bridge device driver」と内蔵されているHDDが表示されます。「OK」をクリックします。



ハードウェアの取り外しが完了したウィンドウが表示されます。「OK」をクリックして取り外します。



【SCSIについて】

■SCSI HDDとしてご利用の前に

●SCSI IDについて

SCSIバスには、SCSIカードを含めて最大8台のSCSI機器を接続できます。接続する機器には、1台ずつSCSI ID」という0から7までの番号を設定しなければなりません。SCSI IDは、各機器を区別するための番号ですので、1台ずつ別々の番号に設定する必要があります。

(例) 既にHDDを2台(SCSI ID=0とSCSI ID=1)とMO(SCSI ID=2)に接続されている場合新たに接続するCHD-SUCGにはSCSI IDを3～6の範囲で設定しなければなりません。

※SCSI ID=7は通常ホストアダプタが使用しています。Macintoshの標準バスもSCSI ID=7をホストが使用しています。ホストアダプタのSCSI ID番号を変更できる機種もありますので、詳しくはホストアダプタの取り扱い説明書をご参照ください。

●SCSI IDの設定方法

本体背面のDIPスイッチ1～3で設定します。

	SW1	SW2	SW3
SCSI ID 0	OFF	OFF	OFF
SCSI ID 1	ON	OFF	OFF
SCSI ID 2	OFF	ON	OFF
SCSI ID 3	ON	ON	OFF
SCSI ID 4	OFF	OFF	ON
SCSI ID 5	ON	OFF	ON
SCSI ID 6	OFF	ON	ON
SCSI ID 7	ON	ON	ON

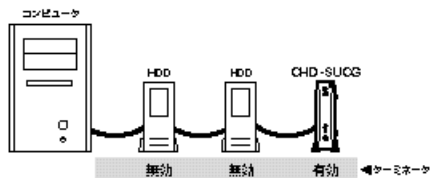
●ターミネータについて

SCSI機器の安定動作のために、「SCSIターミネータ」を設定する必要があります。

SCSIターミネータは、必ず『終端のデバイスのみ有効』にし、他のデバイスは無効になっていなければいけません。

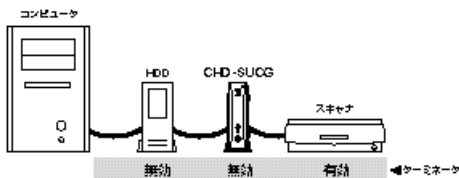
(例1) CHD-SUCGがディジーチェーンの最後になる場合

- ・他の機器のターミネータ：無効
- ・CHD-SUCGのターミネータ：有効



(例2) CHD-SUCGがディジーチェーンの途中になる場合

- ・HDDのターミネータ：無効
- ・CHD-SUCGのターミネータ：無効
- ・スキャナのターミネータ：有効



●ターミネータの設定方法

本体背面のDIPスイッチ4で設定します。

- ・DIPスイッチ4 ON : ターミネータ有効
- ・DIPスイッチ4 OFF : ターミネータ無効

【SCSIでの使用方法～Macintosh 編】

■取り付けまでのステップ

Step 1 : B'sCrew Liteのインストール (USB編でインストールしてあれば必要ありません)

Step 2 : SCSI ID、ターミネータの設定

Step 3 : CHD-SUCGをMacintoshに接続

Step 4 : CHD-SUCGをフォーマット

●取り付けの前に

ドライバーCD-ROMは「Century006」という名前でデスクトップに表示されます。

このマニュアルでは、ドライバー CD-ROM という表記は、この「Century006」とマウントされる CD-ROMのことを指します。

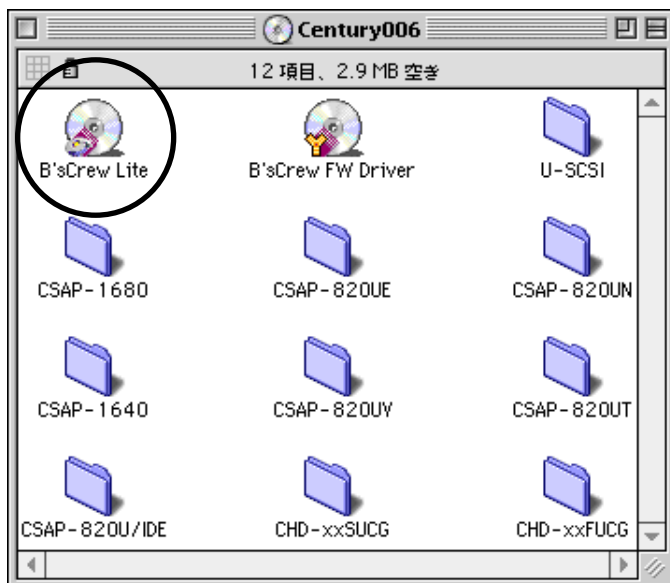


●Step 1 : B'sCrew Liteのインストール

1 : Macintoshを起動します。

2 : ドライバーCD-ROMをCD-ROMドライブへ入れます。

3 : 「Century006」のアイコンをダブルクリックして開き、「B'sCrew Lite」をダブル クリックして開きます。



4 : 「B'sCrew Lite installer」をダブルクリックしてインストーラを起動します。



5 : 表示される手順に従ってインストールを行います。

6 : Macintoshを再起動します。

●Step 2 : SCSI ID、ターミネータの設定

お使いのシステムに合わせてターミネータ、SCSI IDの設定を行います。

必ずCHD-SUCGの電源が入っていない状態で設定変更をしてください。

●Step 3 : CHD - SUCGをMacintoshに接続

<注意！> SCSI接続の場合は、必ずMacintoshが起動していない状態で接続を行って下さい。

1 : ACアダプターをCHD-SUCGに接続します。

2 : 電源ケーブルをACアダプタに接続した後、コンセントに接続します。

3 : CHD-SUCGをMacintoshのSCSIポートに接続します。

4 : CHD-SUCGの電源スイッチを入れます。

5 : Macintoshを起動します。

●Step 4 : CHD - SUCGをフォーマット

1 : 「Appleメニュー」 → 「コントロールパネル」 → 「B'sCrew Lite」を開きます。

2 : CHD-SUCGを接続しているSCSIバスに「Step 2」でCHD-SUCGに設定したハードディスクが表示されていれば認識されています。

HDDをダブルクリックして開くと、ドライブウィザードが実行されます。

指示に従ってハードディスクの領域を設定することで使用可能になります。

●イニシャライズが完了してデスクトップにハードディスクのアイコンが表示されたら完了です。

【SCSIでの使用方法～ Windows 編】

■取り付けまでのステップ

Step 1 : SCSI ID、ターミネータの設定

Step 2 : CHD-SUCGをコンピュータに接続

Step 3 : CHD-SUCGのディスク領域確保、フォーマット

●Step 1 : SCSI ID、ターミネータの設定

お使いのシステムに合わせてターミネータ、SCSI IDの設定を行います。

必ずCHD-SUCGの電源が入っていない状態で設定変更をしてください。

●Step 2 : CHD-SUCGをコンピュータに接続

<注意！>SCSI接続の場合は、必ずコンピュータが起動していない状態で接続を行って下さい。

- 1 : ACアダプターをCHD-SUCGに接続します。
- 2 : 電源ケーブルをACアダプタに接続した後、コンセントに接続します。
- 3 : CHD-SUCGをコンピュータのSCSIポートに接続します。
- 4 : CHD-SUCGの電源スイッチを入れます。
- 5 : コンピュータを起動します。

●Step 3 : ディスクの領域を確保、フォーマット

□Windows 2000の場合

- ・「スタートメニュー」から、「設定」→「コントロールパネル」を開きます。
 - ・「コントロールパネル」の中の「管理ツール」を開き、その中の「コンピュータの管理」を開きます。
 - ・「コンピュータの管理」画面の「記憶域」下の「ディスクの管理」を選択します。
 - ・「ディスクの管理」画面右下に、「ディスクX (Xは数字が入ります)」の未割り当てディスクがありますので、そこにカーソルを合わせて右クリックし「パーティションの作成(P)」を選択します。
 - ・「パーティション作成ウィザード」が開始されますので、お客様の御使用の環境に合わせて設定します。
- パーティションのフォーマットを行わないと、Windows からハードディスクを使用することが出来ませんのでご注意ください。

□Windows98 / 98SE / Meの場合

- ・「スタートメニュー」から、「プログラム(P)」→「MS-DOSプロンプト」を選択します。
- ・C:\WINDOWS>の後に、キーボードで「FDISK」と入力し、Enterキーを押します。
- ・「512MB以上のディスクがあります」には「Y」キーを押して「Enter」を押して下さい。
- ・FDISK メインメニューが表示されます。「5.現在のハードディスクドライブを変更」を選択し「Enter」キーを押し、接続した CHD-SUCG がコンピュータの2台目のディスクなら「2」を3台目のディスクなら「3」を押して「Enter」を押して下さい。
- ・「1.MS-DOS 領域を作成」を選択します。
「1」と「Enter」キーを押します。
- ・「1.基本MS-DOS領域を作成」を選択します。
「1」と「Enter」キーを押します。
- ・「MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか？」というメッセージが表示されます。
「Y」キーを押して「Enter」を押して下さい、領域の分割等については、Windowsのマニュアル等をご参照下さい。
- ・「基本 MS-DOS 領域を作成しました、ドライブ名は変更または追加されました」というメッセージが画面下部に表示されたら、「ESC」キーを3回押して「C:\Windows」に戻ります。
- ・C:\Windows>の後に「EXIT」と入力し、Enterキーを押してMS-DOSプロンプトを終了します。
- ・Windowsの画面に戻ったら再起動を行います。
- ・再起動した後、マイコンピュータを開くと、新しいドライブが追加されています、この状態で新しいドライブを開こうとしても「アクセスできません。システムに装着されたデバイスは動作していません。」と表示され、使用することが出来ません。
ドライブを右クリックして「フォーマット(M)」を選択します。
- ・フォーマット画面が表示されます、「フォーマットの種類」を「通常のフォーマット (F)」にクリックし「開始(S)」をクリックします。
- ・「このドライブはハードディスクまたは大容量リムーバブルディスクです。フォーマットするとディスクのデータはすべて失われます。フォーマットしてもよろしいですか？」というメッセージが表示されます。
【間違いなく増設したディスクであるかを確認して】「OK」をクリックします。
- ・フォーマットが終了します。「閉じる」を押して下さい。
※この時、Windowsがスキャンディスクを実施するかを問いあわせます。
お時間があれば、(数十分～数時間かかります) 念のため実施しておくことをお勧めします。

【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな？」と思われましたら、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■接続してもデスクトップに現れない、認識されない（USB / SCSI：Macintosh）

- USB / SCSIケーブル、ACケーブルを確認する。
- 電源ケーブル、電源LEDが点灯しているかを確認する。
- B'sCrew Liteでデバイスの状態を確認する。
認識されていれば「マウント」ボタンで強制マウントを試みる。
- SCSI IDの確認する。
重複等が無いかを確認してください。
一般的に、Macintoshの場合本体に近い方からSCSI IDを0.1.2....と設定します。
- ターミネータが正しく設定されているかを確認する。

■動作不安定（SCSI：Windows / Macintosh）

- ターミネータが正しく設定されているかを確認する。
- インピーダンスの揃ったケーブルを使用しているかを確認する。
ディジーチェーンで使用する場合、それぞれのSCSI機器を接続しているケーブルの特性値を揃える必要があります。
- SCSIホストアダプタの設定を確認する。

■CHD - SUC GからOSが起動しない（SCSI：Windows）

- マザーボードにIDE HDDが接続されていないかを確認する。
PCA / T機（DOS / V）の場合、マザーボードにIDE HDDが接続されているとSCSI HDDから起動できない場合があります。詳しくはお使いのマザーボードのマニュアルを参照してください。
- SCSIカードの設定を確認する。
SCSIカードの設定によって起動できないことがあります。
また、SCSI BIOSを搭載していないカードからは起動できません。
詳しくは接続しているSCSIカードの取り扱い説明書をご参照下さい。

■CHD - SUC GからOSが起動しない（SCSI：Macintosh）

- 起動ドライブの設定を確認する。
「アップルメニュー」 → 「コントロールパネル」 → 「起動ディスク」を開き、該当 HDD を選択してから再起動してみてください。
- 起動可能なシステムがインストールされているかを確認する
- SCSIカードの設定を確認する。
SCSIカードの設定によって起動できないことがあります。
また、SCSI BIOSを搭載していないカードからは起動できません。
詳しくは接続しているSCSIカードの取り扱い説明書をご参照下さい。

■CHD - SUCGからOSが起動しない（USB：Windows / Macintosh）

- USB接続時のOS起動はサポートしていません。

■CHD - SUCGからOSが起動しない（SCSI：Macintosh）

- 起動ドライブの設定を確認する。

アップルメニュー->コントロールパネル->起動ディスクを開き、該当HDDを選択してから再起動してみてください。

- 起動可能なシステムがインストールされているかを確認する

- SCSIカードの設定を確認する。

SCSIカードの設定によって起動できないことがあります。

また、SCSI BIOSを搭載していないカードからは起動できません。

詳しくは接続しているSCSIカードの取り扱い説明書をご参照下さい。

- SCSI ID設定を0にしている場合は他のIDに変えてみる。

SCSIの規格からは外れますが、Macintoshの場合、外付けHDDのSCSI ID=0からは起動できないことがあります。他のIDにしてみてください。

— ご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等に付きましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

【販売・サポート】

株式会社センチュリー

■サポートセンター

TEL 03-5818-7049 (平日午前10時～午後5時まで) FAX 03-5818-8657

http: / / www.century.co.jp / e-mail: support@century.co.jp